古石ひでさと5期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石 後援会だより

URL：http://古石.com/

第３２３４号
発行日　令和２年６月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

小樽市「昼から」クラスターコロナ感染警戒

小樽市、感染拡大を警戒

半数無症状 経路も特定

「昼カラ」クラスター

【小樽】小樽市内で日中にカラオケをする「昼カラ」の利用者14人が新型コロナウイルスに感染し、新たなクラスター（感染者集団）が確認された28日、市は感染拡大に強い危機感を示した。現時点で感染者は店舗利用者や家族らに限られ、専門家は「市中に漏れ出している状況ではない」と分析。その上で、早期にクラスターの全容を把握し、感染防止策を強化するなど「感染の『連鎖』を防ぐ対応が重要」と指摘する。

（1面参照）

専門家「冷静な対応を」

「これ以上の感染拡大を防がないといけない」。28日、小樽市では1日として最大14人の感染が確認され、迫俊哉市長は記者会見で強い危機感を示した。

28日発表の小樽市の新規感染者は全員が昼カラ利用者で、複数店舗を利用している人もいた。多くが、すでに感染が判明した人の濃厚接触者をたどる中で感染が確認されており、発熱など症状が出る前の無症状の人が半数近くを占めた。

感染予防コンサルタントとして病院などに予防策を助言している感染管理認定看護師の伊藤幸咲さん＝札幌市＝は、28日の小樽の新規感染者全員の経路が特定できていることを挙げ、「市中に感染が広がっている状況ではない」とし、冷静な対応を求める。

道内感染者数の内訳をみると、「感染経路不明」の割合はピーク時に比べて減っており、22日以降の1週間の新規感染者計42人のうち、感染経路不明は4人。伊藤さんは「現在はクラスターを早期に把握しており、行動歴をたどって濃厚接触者を特定することで、感染が発覚した人が大半を占めている」と指摘する。

小樽市は1日までさかのぼって、昼カラ店舗の利用者らを特定する考えだ。伊藤さんも「クラスターの中にいた人が、別の集団に入って感染拡大させていくことを、いかに早い段階で防ぐかが大切」と強調する。

さらに同市内だけでなく、カラオケなど感染リスクが高いとされる店舗を利用する客に対して「新型ウイルスは経症で回復する人がいるのが大きな特徴。数日以内に発熱などの風邪症状が出たら、仕事を休んで自宅で療養してほしい」と呼びかけている。

道内で確認された新型コロナウイルスの感染者数（居住管内別）

28日午後5時現在

石狩	904	(+3)	退	うち札幌市 717（+2）、千歳市 103、北広島市 12、恵庭市 7、江別市 6、石狩市 5
オホーツク	59			うち北見市 13
後志	56	(+14)	3	うち小樽市 50（+14）
空知	44			うち岩見沢市 9
上川	37			うち旭川市 12
釧路	20		1	うち釧路市 1
胆振	18			うち苫小牧市 7、室蘭市 2
渡島	12		2	うち函館市 7
宗谷	5			
留萌	4			
檜山	4			
十勝	3			
日高	3			
根室	2			
道外・国外	9			東京都3、神奈川県2、大阪府1、京都府1、茨城県1、中国湖北省武漢市1
非公表	42			
合計	1222	(+17)	退	退院者1037人

※内訳は人口道内上位15市の発表分のみ　○内は前日からの増加数　■内は死者数で、うち35人は居住地非公表。感染者合計のうち17人は回復ご退院後、再び陽性と確認された

新型コロナウイルスの緊急事態宣言の再発令の目安となる項目と道内の状況（28日現在）

直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数	0.80人（0.51人）
直近1週間の1日平均の新規感染者数	6.0人（3.9人）
うち感染経路不明者数	0.6人
入院者数	85人（86人）
うち重症者数	6人（11人）

※感染者数は陽性再確認も含めた延べ人数。（ ）内は1週間前の公表日現在の数値。政府の専門家会議は再発令について、人口10万人当たりの新規感染者数や増加する時間、感染経路不明者の割合、医療体制の逼迫（ひっぱく）度などが目安になるとの考え方を示している

どうみん割 予約殺到

温泉旅館など完売も

道民の道内旅行を1万円を上限に最大半額助成する道の「どうみん割」の予約が28日正午、始まった。道は1次申し込みの対象施設・事業者1230を公表。新型コロナウイルスの影響で外出自粛要請が続いた後とあり旅行需要は高く、各施設には申し込みが殺到し、道の支援枠に達した施設も続出した。

この日、予約受け付けを始めたどうみん割の対象は、ホテル831、ゲストハウス176、旅行会社164、ネット予約サイト10、観光協会49。

助成枠は事業者ごとに決められ、道によると大手温泉旅館を中心に30分以内で完売する例が続出。道内ホテル大手の野口観光は予約サイトが正午ごろにダウン。復旧の見通しは立っていない。登別市の登別万世閣には電話の予約が続き、担当者は「感染対策を徹底して迎えたい」と話した。

道の電話窓口にも終日、問い合わせが続いた。

大手旅行代理店エイチ・アイ・エスの札幌市中央区の店舗では、同区の会社役員下出浩さん（65）、知浪さん（61）夫妻が適用商品のチラシを手に「ようやく旅行に行ける」と話した。日本ホテル協会北海道支部の宮崎誠支部長は「道内観光の回復のきっかけにしたい」と期待した。

申し込みは7月24日開始の4次までであり、助成額23億円が事業者に配分される。道は新型コロナの感染が急拡大した地域では利用を一時停止するが、28日に14人の感染が確認された小樽市内でも感染経路が特定でき、道内では同日現在、停止対象の地域はない。

道は25日に予約受け付けを始める予定だったが、申し込みの誤記入が数百件あり、3日延期していた。どうみん割の問い合わせは専用ダイヤル☎011・208・7002へ。

（犬飼裕一、高橋澄恵、徳永仁）

コロナ感染1千万人

世界死者50万人迫る

【ワシントン共同】米ジョンズ・ホプキンス大の集計によると、新型コロナウイルスの感染者が28日、世界全体で1千万人を超えた。最初の感染者が報告されてから約半年が経過したが、米大統領の強硬な経済再生路線の影響などで、感染者数の拡大が続いている。死者は累計50万3千人を超えた。

感染者は4月2日に100万人、4月12日に200万人、4月27日に300万人、5月13日に400万人、5月21日に500万人、6月1日に600万人、6月13日に700万人、6月21日に800万人、6月28日に900万人を超えた。

米国は感染者、死者ともに最多で、ブラジルやロシア、インドなどの新興国でも感染拡大が深刻化している。

世界保健機関（WHO）の28日までの1週間の報告によると、各国は感染再開に懸念を示しながらも、経済と感染防止のバランスを取るなどして、厳しい措置を緩和する動きが広がっている。

WHOは100年前に世界的に流行したスペイン風邪では、2年ほどの間に5千万人が死亡したとされていることを踏まえ、「感染の第2波、第3波が来る可能性がある」と警戒を呼びかけている。

新型コロナウイルス感染者が多い国・地域

米国	2517万0323人
ブラジル	1317万3667
ロシア	633万4437
インド	528万8859
英国	317万0250
ペルー	275万9969
チリ	265万7766
スペイン	248万8469
イタリア	239万9961
イラン	222万2669
世界全体	1000万5970

小樽市、昼カラ自粛要請

利用客新たに14人感染

道小樽市などは28日、新型コロナウイルスの感染者が新たに14人確認されたと発表した。うち14人は、日中のカラオケ（昼カラ）ができる小樽市内の3店のいずれかの利用者。同市の昼カラ関連の感染者は計33人（東京都1人を含む）となり、道保健所は市内で昼カラ店舗を利用しないよう呼びかけている。

道保健所によると、新たな感染者は10～70代の男女で、いずれも昼カラ店舗を利用。店には市外の客もいた。

市は28日から3店を含む昼カラ店舗に対し、休業や営業時間の短縮を要請。市内の公共施設も28日から7月11日まで休館とする。

一方、道と札幌市は、石狩管内の20代の飲食店従業員の男女2人が新型コロナに感染したと発表した。

短観 中小の苦境映す

3カ月先「さらに悪化」／過半が資金難

日銀の6月の全国企業短期経済観測調査（短観）は、日本経済が新型コロナウイルス感染拡大によって深刻な打撃を受け、特に中小企業が厳しい局面を脱するには時間がかかる現状を鮮明にした。3カ月先の見通しについて、中小企業は「さらに悪化する」と判断しており、回復の兆しは見えない。景気悪化は、2008年からのリーマン・ショックを上回る可能性が出てきた。（1面参照）

大企業は一部回復

資金繰りが「楽」と答えた企業の割合から「苦しい」と答えた企業の割合を引いた資金繰り判断指数（DI）は約7年ぶりにマイナスに転落。大企業のプラス10に対し中小企業はマイナス1となった。中小企業は、過半数の企業が資金繰りに苦労している。

政府は緊急経済対策として持続化給付金や実質無利子・無担保融資を打ち出している。西村康稔経済再生担当相は1日の会見で「何とかしてもう3月、5月を底にして、内需主導で経済の回復を実現したい」と述べ、V字回復に期待をかけた。

ただ、感染第2波などへ先行きの不透明感が強い中、特に財務基盤が弱い中小企業は資金調達に苦しむ企業が少なくない。

業種別の業況判断DIをみると、巣ごもり需要が増えた小売りが大企業ではマイナス7からプラス2に上昇したのに対し、中小企業はマイナス20からマイナス38に悪化。大企業は大型スーパーや家電量販店の売り上げ増で改善したが、小規模な小売店が多い中小企業には恩恵がみられない。

東京商工リサーチによると、6月の新型コロナ関連の経営破綻は103件。2月以降の累計は1032件に増える。

道内業種別の業況判断指数（DI）

（▲はマイナス）

	2019年 6月	9月	12月	20年 3月	6月	9月（予測）
全産業	8	12	8	▲7	▲26	▲25
製造業	1	6	4	▲12	▲32	▲29
食料品	0	6	6	▲21	▲52	▲33
木材・木製品	23	15	15	▲8	▲31	▲46
窯業・土石製品	13	0	0	14	0	14
金属製品	10	20	10	▲20	▲30	▲30
汎用・生産用・業務用機械	0	0	0	▲15	15	▲29
電気機械	▲15	0	▲14	0	▲43	▲43
輸送用機械	▲11	11	0	▲11	▲22	▲22
非製造業	11	13	9	▲6	▲23	▲23
建設	20	28	16	16	0	▲12
不動産	27	29	23	29	12	12
物品賃貸	33	16	34	8	▲34	▲16
卸売り	▲3	2	▲3	▲5	▲28	▲26
小売り	▲10	0	2	▲16	▲36	▲41
運輸・郵便	3	3	0	▲26	▲32	▲29
情報通信	11	5	▲5	▲17	▲23	▲17
対事業所サービス	29	23	18	23	6	0
対個人サービス	25	17	42	▲27	▲90	▲60
宿泊・飲食サービス	15	7	12	▲75	▲92	▲72

フォーカス FOCUS

道内景況感 大震災下回る

全産業 3期連続悪化

日銀札幌支店が1日発表した6月の道内企業短期経済観測調査（短観）による業況判断指数（DI）は全産業でマイナス26と、3月の前回調査から19ポイント下落し、東日本大震災直後の2011年6月調査（マイナス24）を超える低水準となった。3期連続の悪化で、新型コロナ感染拡大による道内景気への打撃の大きさが浮き彫りになった。

全産業のDIの悪化は3期連続、宿泊・飲食サービス（▲72ポイント下落しマイナス92）のほか、カラオケ店などの対個人サービス（63ポイント下落のマイナス90）と、食料品製造（31ポイント下落のマイナス52）が記録と比較できる01年3月以来最大の悪化を記録。食料品製造は食肉業の減少が響いた。

製造業は20ポイント下落のマイナス32、自動車販売の不振に伴い電気機械がマイナス43、輸送用機械がマイナス22となったほか、民間工事などの減速で木材・木製品がマイナス31と落ち込んだ。唯一上昇した流用・生産用・業務用機械は回答社数の少なさによる個別要因。

非製造業は17ポイント下落のマイナス23。建設業が16ポイント下落のマイナス36となった。

人員の過不足を示す雇用人員判断DIは全産業で18ポイント上昇のマイナス19。依然としてマイナスながらも、企業の営業体制縮小などで人手不足感は大きく緩和した。

20年度の設備投資計画は前年度比マイナス5・3%と、観光関連を中心に計画を縮小している。

9月の全産業はプラス改善のマイナス25になる見通しで、小売り高水準の反動減や緊急事態宣言の解除で道内経済はV字に近い回復に向かうとが考えられるが、今後の新型コロナの状況に左右されるとの見方を示した。

調査は5月28日から6月30日に道内256社を対象に行い、452社が回答した。回答率は89・1%。（盛田昭一）

コロナ禍にさらされ、人通りがまばらな札幌・ススキノ＝5月19日

ブラジル 貧困地域医療遅れ インド 経済困窮で規制緩和

新興国で流行拡大

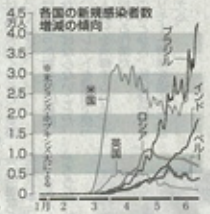
コロナ感染1010万人 死者50万人超

【ワシントン共同】米ジョンズ・ホプキンス大の集計によると、世界全体の新型コロナウイルス感染者は28日、1010万人を超えた。特に米国や中南米諸国の増加が目立っている。死者は28日、50万人を超えた。

死者が1万人を超えたのは4日間の16万1千人ペースで増え続けており、28日には過去7日間で約12万2千人増と、次にある。

新型コロナウイルス感染者が多い国・地域

米国	2547万8991人
ブラジル	1345万4143
ロシア	647万1156
インド	545万8318
英国	317万1151
ペルー	277万9419
チリ	277万1962
スペイン	248万8770
イタリア	247万0310
イラン	225万5205
世界全体	1015万4984



28日、インド・ニューデリーで、新型コロナウイルス感染症で亡くなった親族のために祈る少年ら（ロイター＝共同）

雇用不安定

感染者が5倍目をいべルーでは、3月に解除もまれなほど厳格な措置を取ったが感染を止められなかった。治療薬普及率も米英より低い。

保険加入率の低さから、市民は感染が怖くても休業しない傾向があり、経済活動を優先する国ほど感染拡大しやすいとされる。

インドやブラジルは規制を緩和し一層の感染拡大が懸念される。4月から段階的に規制緩和したインドでは、千人余りだった1日の感染者が6月に2千人余り、再び3千人余りに増えた。感染者数のピークは第1波を上回るありさまだ。